

学校運営協議会(第1回)議事録

校名	府立交野支援学校
校長名	西村 誠三

開催日時	平成30年 6月 28日(木) 10:00 ~ 12:00
開催場所	府立交野支援学校 校長室
出席者(委員)	高塚 良則(会長) 八尾 康典(委員) 松浦 弘志(委員) 千原 義昭(委員) 森近 美子(委員) 岩出 るり子(委員)当日欠席
出席者(学校)	西村 誠三(校長) 室田澄江(教頭) 大根智大(教頭) 麻生豊(事務部長) 相馬 寿子(首席) 大西 直子(首席・中学部主事) 西島 洋美(首席・高等部主事) 山田 恵子(指導教諭・小学部主事)
傍聴者	2名(本校保護者)
協議資料	平成30年度 学校経営計画
備考	

議題等(次第順)

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校運営協議会委員および事務局自己紹介
- (3) 会長選出と「学校運営協議会実施要綱」「学校協議会傍聴規則」の確認
 ※立候補により、会長に高塚 良則様、副会長に八尾 康典様が選出された
- (4) 報告「教科用図書選定」
- (5) 平成30年度学校経営計画及び学校評価」
意見交換
- (6) 今後の予定

協議内容・承認事項(校長より内容説明)

＜学校運営協議会実施要綱について＞

本年度より学校運営協議会を設置し、より広く地域に根ざし、コミュニティスクールとして学校運営全般について意見を積極的に反映できることとなる。
 ・次年度の学校経営計画を年度末に作成し本協議会で承認を得て進める。
 ・人事に関する計画についても意見を聞くことができる。

＜平成30年度学校経営計画及び学校評価」説明＞

「めざす学校像」実現に向け校長が「基礎」「実践」「組織」「発信」の観点で中期的目標を確認し、本年度の取り組み内容について資料を示しながら具体的に説明した。

①【基礎】安全安心力の向上

- ・児童生徒の実態に即した実践ができるよう、資料「人権学習マトリックス」を提示し、取り組みを説明。個人、組織にとって人権意識の質を高められるようセルフチェックシートを活用する。
- ・府内最多の看護師配置、国事業の重点校として支援学校として成果と課題を次年度以降につなげられるよう取り組む。
- ・今年6月の地震時の対応を教訓に夏休みの「大災害時模擬訓練」を実施する。地域との連携も視野に入れる。学校におけるリスク一覧を整理し「危機管理の手引き」を再編する。

②【実践】授業実践力の向上

- ・新学習指導要領に沿ったシラバス(年間計画)の検討、作成を進める。
- ・各教員が学部間の連携を進め、相互に授業観察ができるよう、首席、指導教諭を活用する。
- ・特別支援学校学習指導要領に示される自立活動の領域について資料で説明し、肢体不自由校で取り組んでいるスパイダー、スヌーズレン、ICT教育機器についても説明。児童生徒のニーズに応じた活用の充実を図る。

③【組織】組織力の向上

- ・教員の平均年齢や実態を説明し、教材のアーカイブ化の重要性を伝えた。質の高い教師集団の実現をめざし組織としての引き継ぎシステムを推進し整備する。
- ・教職員の職場環境の現状(休憩時間が取れない、児童生徒の安全、保護者対応などへの精神的緊張など)を説明。教員の熱意を大切にしながら働きやすい職場環境づくりを推進する。

④【発信】発信力の向上

- ・「学校間交流」「居住地校交流」「校区・支援学校交流」の実践を充実させ、相互の学びを発信する。
- ・地域連携の授業を実施する。地域の協力を改めてお願いした。
- ・発信ためのホームページのCMS形式でのリニューアルについて説明した。

協議内容・承認事項等(委員からの意見の概要)

委員より

- ・学校経営計画について、より積極的に地域の方に意見をいただける方向であれば、今後一層、具体的でわかりやすい計画にしていくべきだと思う。ホームページの発信も地域の方にも身近で活用できる内容を考えてほしい。
- ・卒後の入所施設では、学校と同じ医療的ケアを求められることがあるが、難しい現状である。学校でのきめ細かい実践を卒後に活かし、引き継いでいける方向性を探りたい。
- ・教職員の多忙に関して、働き方改革を進めることは大切である。同時に個人情報の管理についても先生方の意識を徹底してもらいたい。どこの現場でもあることだが、力量の差もあり組織としての質の向上を考えてほしい。
- ・きめ細かい経営計画で、私学である自校でも参考にしたい。
- ・教職員の働き方改革については自校でも悩んでいるところである。
- ・自立活動の領域、個別の指導計画について、どの生徒にとっても重要であると感じた。「自立」というキーワードは一番大切な教育の目標であると思う。自校でも卒業生の経験談を聞く機会を設けていて、生徒の興味をひいていると思う。
- ・大規模災害時には一番近くの学校として相互に協力体制が取れるよう連携を深めたいと思う。
- ・「自立」に向けての目標は人生の目標であると感じる。一人ひとりのニーズに合わせて目標を設定して、きめ細かく教育されていると感じた。しっかりしたカリキュラムとガイダンスを示し自信を持ってがんばってほしい。
- ・府内のPTA保護者部会等に参加して、各校の事情を聞く中で、看護師配置や医療的ケアの体制など交野支援が恵まれていると感じることがある。学校に来て先生の働き方に接する中でも給食も満足に食べられないなど大変さを感じている。年度途中で先生が体調不良などの連絡を受けると心配している。
- ・今回の地震では本校に通う生徒の通院日ときょうだいの送迎対応が重なり、道路渋滞にも巻き込まれ非常時の困難さ、不安を身にしみて感じた。
- ・卒後の施設での引き継ぎの難しさを話されていたが、進路について欠員が少なく不安がある。将来につながればいいと思って放課後等デイサービスも利用している。施設を増やしてほしい。

医療的ケアの体制について

- ・国の事業が終わっても看護師の加配が継続できることが望ましい。
- ・実際に国事業の加配は1名のみで、多くの看護師配置については教員定数を削って配置している現状である。
- ・必要な教員の体制をPTAと共に要望していきたい。

教員の働き方改革について

- ・本校の特性として教員間の共通理解、情報共有に時間がかかる。児童生徒の安全・教育実践のために大切にしているところでもある。
- ・組織として事務的な仕事など簡略化していきたい業務もあるが、その体制作りにも時間がかかってしまうジレンマを感じることもある。

学校経営計画について

- ・地域の方によりわかり易く、より具体的に簡潔に示してほしい。

日時 平成 30年 12月 13日(木)10:00~12:00

会場 大阪府立交野支援学校 校長室